

中施策評価書

作成日 令和04年 6月 8日

中施策事業名	リサイクル推進事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	塚田 力

①めざすまちの姿	06 人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである
②大施策	ごみが落ちていないきれいなまちをつくる
③中施策	人々のマナーの向上を図る
④中施策事業の対象	市民
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	ごみとして排出されている資源物が資源としてリサイクルされている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・資源回収 ・リサイクルの普及

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
リサイクル率	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	26.9	26.9	26.9	26.9	26.9	26.9
	実績値	29.1	29.5				
単位	%						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費(a+b)				147,490千円	149,473千円	
	a 事業費合計			147,490千円	149,473千円	150,905千円
	人 件 費	正 規 職 員	人 数	0 人	0 人	
			b 金 額	0千円	0千円	
		非 常 勤 一 般 職 員 等 (事業費に含む)	人 数	0 人	0 人	
			金 額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等（収入）				12,797千円	16,121千円	17,058千円
③ コスト（①－②）				134,693千円	133,352千円	
市民一人あたりコスト （③／市の人口（評価対象年度末時点））				1,957 円	1,938 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 東部知多クリーンセンターにおける新ごみ処理施設の稼働開始により、焼却後のスラグ・メタル化がリサイクル率の向上に繋がっている。結果として、目標値を達成することができた。引き続き、計画通り事業を進めていく。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	ごみの分別パンフレット改訂を通じて、資源の分別が促進されるように、分別案内の方法を工夫していく。また、新たにプラスチック製品のリサイクルを進める。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	プラスチック製品リサイクルの効果を検証する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 5月 10日

中施策事業名	ごみ減量啓発事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	塚田 力
①めざすまちの姿	06 人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである		
②大施策	ごみが落ちていないきれいなまちをつくる		
③中施策	人々のマナーの向上を図る		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市民が排出するごみが減っている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ごみ分別パンフレット ・アダプトプログラムの推進 ・ごみ減量化推進 ・事業系一般廃棄物の減量化推進 ・とよあけクリーン月間 ・資源分別説明会 ・食品ロス削減 ・出前講座		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
資源説明会、出前講座の参加人数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	360	360	360	360	500	500
	実績値	521	774				
単位	人						
1人1日あたりの可燃・不燃ごみの排出量	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	456	433	410	410	410	410
	実績値	499	491				
単位	g						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費(a+b)				2,314千円	1,296千円	
	a 事業費合計			2,314千円	1,296千円	4,276千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等（収入）				8千円	8千円	308千円
③ コスト（①－②）				2,306千円	1,288千円	
市民一人あたりコスト （③／市の人口（評価対象年度末時点））				34 円	19 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 「豊明市家庭系ごみ減量化実施計画」における減量化目標を達成するために、各種啓発活動に努めている。令和3年度は減量化計画の中間報告とごみ減量の促進を目的に「ごみ減量に関する市民説明会」を開催した。また、新たに「ごみ減量モデル地区」を1つの区で設定し、啓発活動などを重点的に実施した。ごみの量は減少しているものの、目標値には届かなかった。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	ごみの分別パンフレット改訂を通じて、ごみの減量に繋がる分別方法を案内していく。「ごみ減量モデル地区」を周知し、地域における取り組みを進めていく。また新たに資源化を推進するために、プラスチック製品のリサイクルを行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	減量化目標の達成状況を踏まえ、ごみ処理手数料の有料化も含めて効果的な減量化施策の検討を行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 4月 12日

中施策事業名	不法投棄対策事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	塚田 力
①めざすまちの姿	06 人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである		
②大施策	ごみが落ちていないきれいなまちをつくる		
③中施策	人々のマナーの向上を図る		
④中施策事業の対象	市域		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	不法投棄がない		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・環境保全一般		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
不法投棄数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	250	230	230	230	180	180
	実績値	148	102				
単位	件						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				2, 203千円	2, 371千円	
	a 事業費合計			2, 203千円	2, 371千円	2, 235千円
	人 件 費	正 規 職 員	人 数	0 人	0 人	
			b 金 額	0千円	0千円	
		非 常 勤 一 般 職 員 等 (事業費に含む)	人 数	0 人	0 人	
			金 額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等（収入）				0千円	0千円	0千円
③ コスト（①－②）				2, 203千円	2, 371千円	
市民一人あたりコスト （③／市の人口（評価対象年度末時点））				32 円	34 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 不法投棄数については、減少傾向にあり、事業としての役割を果たしている。今後も監視を継続していくことで、不法投棄が行われにくい環境にしていくことができる。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	早期発見とともに警告ラベル処理を行うことで、監視体制を強化していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	警告ラベルによって抑止力を促すという対処療法的な方法よりも、根本的な解決策を考案していく必要がある。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 5月 6日

中施策事業名	新エネルギー推進事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	塚田 力

①めざすまちの姿	09 空気がきれいである
②大施策	きれいな空気を保全する
③中施策	エコライフを促進する
④中施策事業の対象	市民
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	多くの市民等が、再生可能エネルギー設備を積極的に導入し、「地域のエネルギーで豊かに暮らすまち・豊明（新エネルギー推進計画）」を実感するようになる
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 地中熱利用事業に関すること ・ 太陽光発電屋根貸し事業に関すること ・ 太陽光発電事業の計画立案に関すること

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
再生可能エネルギー（太陽光発電等）による年間売電 量	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	22,276	24,503	26,954	29,649	29,649	29,649
	実績値	23,284	24,064				
	単位	MWh					
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				59,885千円	58,996千円	
	a 事業費合計			59,885千円	58,996千円	71,300千円
	人 件 費	正 規 職 員	人 数	0 人	0 人	
			b 金 額	0千円	0千円	
		非 常 勤 一 般 職 員 等 (事業費に含む)	人 数	0 人	0 人	
			金 額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等（収入）				0千円	0千円	0千円
③ コスト（①－②）				59,885千円	58,996千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				870 円	857 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 本市における再生可能エネルギーの売電量については順調な伸びを示しており、各年度において目標を達成している。 水上太陽光発電事業については、日照時間等の影響により前年度実績を下回ったものの概ね順調な発電を記録している。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	市民一人ひとりが将来のエネルギー課題について取り組みを継続できるよう、再生可能エネルギーへの関心を高めるための啓発が必要である。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	水上太陽光発電事業については、安定的な発電量を維持できるよう適切な維持管理に努めていく必要がある。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 12月 23日

中施策事業名	合併処理浄化槽設置補助事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	塚田 力
①めざすまちの姿	09 空気がきれいである		
②大施策	きれいな空気を保全する		
③中施策	市内の大気汚染や悪臭の問題を少なくする		
④中施策事業の対象	下水供用区域外の住居		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	単独浄化槽等から合併浄化槽となっている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・生活排水		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
市内単独処理浄化槽数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	1,880	1,870	1,860	1,850	1,840	1,830
	実績値	1,916	1,902				
	単位	基					
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費(a+b)				3,072千円	3,745千円	
	a 事業費合計			3,072千円	3,745千円	4,885千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等(収入)				1,365千円
③ コスト(①－②)				1,707千円	3,160千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				25 円	46 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 水質改善に効果のある、単独浄化槽及び汲み取り便槽からの合併処理浄化槽への切り替えを重点的に進めて行く必要がある。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	事業者を中心に啓発を図ることにより、単独浄化槽及び汲み取り便槽からの合併処理浄化槽への切り替えを促進する必要がある。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	単独浄化槽及び汲み取り便槽からの合併処理浄化槽への切り替えを促進するため、より効果的な啓発等に努める必要がある。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 11月 29日

中施策事業名	公害対策事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	塚田 力

①めざすまちの姿	09 空気がきれいである
②大施策	きれいな空気を保全する
③中施策	市内の大気汚染や悪臭の問題を少なくする
④中施策事業の対象	市内の河川及び大気
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	河川の水質が浄化されているとともに車等の排気ガスが抑制されている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 公害

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
河川の春季におけるBODの環境基準 (3mg/L以下)達成箇所数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	4	4	5	5	6	6
	実績値	5	6				
単位	箇所						
大気環境測定局における浮遊粒子物質の測定値(年平均)	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	17	17	17	17	17	17
	実績値	16	15				
単位	ppm						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				7,909千円	7,618千円	
	a 事業費合計			7,909千円	7,618千円	7,785千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等（収入）				0千円	0千円	0千円
③ コスト（①－②）				7,909千円	7,618千円	
市民一人あたりコスト （③／市の人口（評価対象年度末時点））				115 円	111 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 河川等の水質調査を実施するとともに数値を公表し公害対策に努めた。
-----------------------------	---------------------------------------

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	測定箇所については、例年、水量不足によって測定不能となる場所を外すなど見直しを行った。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	今後も必要に応じて測定箇所や項目などを見直していく。 阿野地区大気環境常時測定局について解体工事及び撤去を行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 7月 4日

中施策事業名	温暖化対策推進事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	塚田 力

①めざすまちの姿	09 空気がきれいである
②大施策	きれいな空気を保全する
③中施策	排気ガスの排出量を抑制する
④中施策事業の対象	公用車
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	温室効果ガスが削減されている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・地球温暖化対策立案に関すること ・エコアクションプランに関すること ・省エネルギー政策の推進に関すること

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
公用車における温室効果ガス総排出量についての対26年度削減比率	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	5	5	5	5	5	5
	実績値	14.9	14.1				
	単位 %						
住宅用地球温暖化対策設備等設置費補助金申請件数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	20	20	20	20	20	20
	実績値	20	5				
	単位 件						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				2, 915千円	2, 165千円	
	a 事業費合計			2, 915千円	2, 165千円	2, 915千円
	人 件 費	正 規 職 員	人 数	0 人	0 人	
			b 金 額	0千円	0千円	
		非 常 勤 一 般 職 員 等 (事業費に含む)	人 数	0 人	0 人	
			金 額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等（収入）				250千円	62千円	125千円
③ コスト（①－②）				2, 665千円	2, 103千円	
市民一人あたりコスト （③／市の人口（評価対象年度末時点））				39 円	31 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B エコアクションプランによる取り組みを推進することにより温室効果ガスの削減を進めることができた。 住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助金については、エネファームの普及が一段落したため前年度に比べて減少したと見られることから、対象設備の見直しを行う必要がある。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助金については、エネファームの普及が一段落したと考えられることから対象設備の変更（V2H）を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	市民一人ひとりが地球温暖化対策について課題意識を持つことができるよう、関心を高めていくための啓発が必要である。 令和4年度に補助対象設備を変更したことにより、1件あたりの上限額が5万円から10万円となったが、予算総額は変更なしのため件数の上限は10件となった。それに伴い目標値と乖離が生じることとなるため、今後の申請状況に応じて検討が必要である。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 4月 28日

中施策事業名	有機循環推進事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	塚田 力
①めざすまちの姿	10 日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティになっている		
②大施策	自然を確保しながら生活に不自由のない街をつくる		
③中施策	市民とともに緑が続く環境をつくる		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	可燃ごみとして排出されている生ごみが各家庭で堆肥化・減量化されている。		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 生ごみ堆肥化促進容器等購入費補助金交付事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
補助金を交付した 生ごみ堆肥化促進 容器数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	30	30	30	30	30	30
	実績値	16	35				
	単位	基					
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額		
				令和02年度	令和03年度	令和04年度		
① 総事業費(a+b)				2,243千円	2,270千円			
人件費	a 事業費合計			2,243千円	2,270千円	2,271千円		
	正規職員	人数	0 人	0 人				
		b 金額	0千円	0千円				
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人			
			金額	0千円	0千円			
			人件費合計			0千円	0千円	
			② 補助金等（収入）			0千円	0千円	0千円
③ コスト（①－②）			2,243千円	2,270千円				
市民一人あたりコスト （③／市の人口（評価対象年度末時点））			33 円	33 円				

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 令和3年度は生ごみ堆肥化促進容器の補助対象を拡大した結果、補助申請件数が増え、目標値を達成することができた。引き続き、堆肥化促進容器補助の周知に努め、有機循環を推進し、ごみの減量にも繋げていく。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	生ごみ堆肥化促進容器の補助を通じた有機循環にとどまらず、家庭で手軽にできるダンボールコンポストの普及にも努める。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	堆肥化促進容器の対象を拡大した後の補助申請件数の推移を検証し、今後の補助のあり方を検討する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 7月 8日

中施策事業名	墓地管理事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	塚田 力
①めざすまちの姿	10 日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティになっている		
②大施策	自然を確保しながら生活に不自由のない街をつくる		
③中施策	生活利便性の高い街をつくる		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	勅使墓園が有効に利用されている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 墓地 ・ 火葬場 ・ 墓園事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
空墓所数の残数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	722	717	712	707	702	697
	実績値	671	674				
単位	基						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和02年度	令和03年度	令和04年度	
① 総事業費(a+b)				16,598千円	17,968千円		
	a 事業費合計			16,598千円	17,968千円	27,288千円	
	人 件 費	正 規 職 員	人 数	0 人	0 人		
			b 金 額	0千円	0千円		
		非 常 勤 一 般 職 員 等 (事業費に含む)	人 数	0 人	0 人		
			金 額	0千円	0千円		
		人件費合計			0千円	0千円	
		② 補助金等（収入）				0千円	0千円
③ コスト（①－②）				16,598千円	17,968千円		
市民一人あたりコスト （③／市の人口（評価対象年度末時点））				241 円	261 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 近年、家族形態の変容から墓離れの傾向が進みつつある中、墓所募集の周知の工夫などにより使用許可数が若干増加した。 使用対象者の制限緩和として、市外在住の人にも枠を広げるとともに、市外自治体等にも周知を行った。 指定管理者制度による都市公園との包括管理を進めるため、導入に関する準備を行った。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	指定管理者制度の導入により都市公園との包括管理を実施し、スケールメリットによるコスト削減とともにサービス水準の向上を図る。 新たな墓地の在り方について、墓園使用者や市民を対象に意識調査を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	墓園使用者や市民を対象とした意識調査の結果を踏まえ、本市における墓地の将来計画に関する考察を行う。 また、指定管理者による都市公園との包括管理において、利用者へのサービス向上の施策について指定管理者と協議を行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等